

スピーカーケーブルの交換方法

まずスピーカーを横にできて、天井までの高さがスピーカーの2倍の高さ(約2m)の作業場所を確保してください。

1)スピーカーを寝かして、六角レンチ(2.5mm)でスピーカーケーブルストッパーを外します。ストッパーにはケーブルが巻き付けてありますので、その様子を覚えておいてください。

注意:スピーカーを寝かす場合は必ずスクリューキャップを取り付けた状態で行ってください。

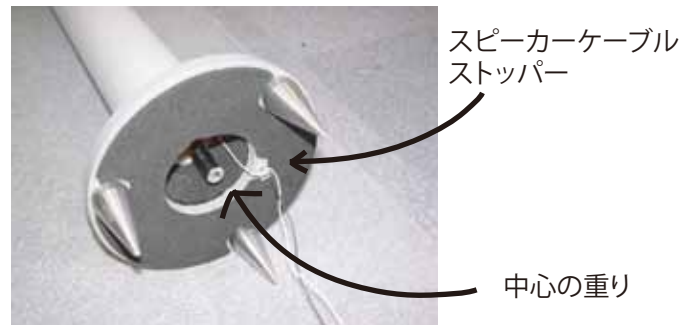


写真1 スピーカー底部

2)スピーカーを起こし、スクリューキャップを外します。反時計回りに回すと外れます。

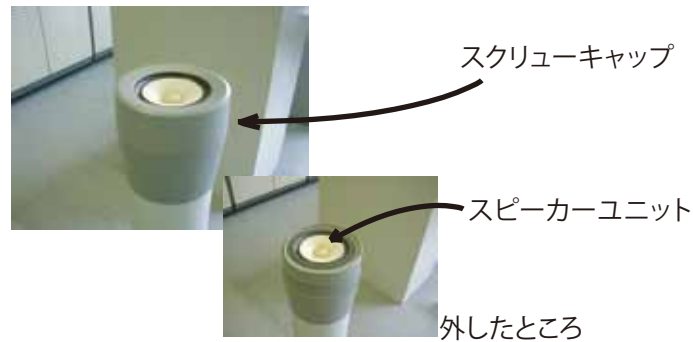


写真2 スピーカー頂部

3)スピーカーユニットを少しだけ持ち上げます。スピーカーの下から手を入れて、中心の重り(写真1参照)を押し上げると簡単に持ち上がります。たとえば、右手で重しを持ち上げ、左手でユニットを支えるとよいでしょう。



写真3 スピーカーユニット

4)その、持ち上げたままの状態ですピーカーケーブルとユニットの接合部分からケーブルを外します。スピーカーケーブルが外れたらそのまま垂直に持ち上げていきます。外したユニットは作業の邪魔にならない場所に寝かして置いておきます。

注意:重りに巻かれた黄色い布は強く握らないようにしてください。

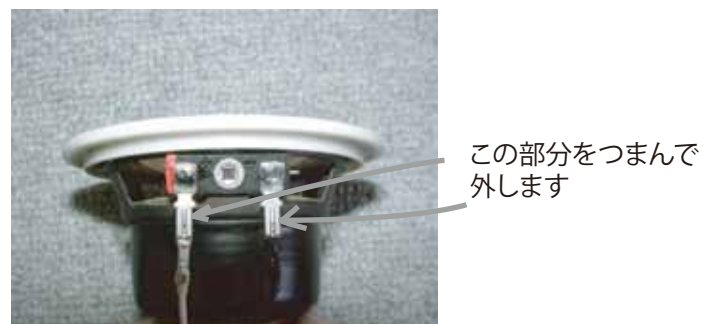


写真4 接合部

※注意:必ず軍手や厚手の手袋を装着して作業していただきますようお願いいたします。特に吸音材に含まれるウイスカ(ヒゲ状結晶)によって切り傷を負うことがありますので、吸音材にはなるべく素手で触れないようお願いいたします。

5)シールをゆっくりと剥がします。剥がすとケーブルが完全に外れます。シールからスピーカーユニットまでの「遊び」の部分の長さを覚えておいてください。

シールは新しいものと交換しますので処分していただいで結構です。

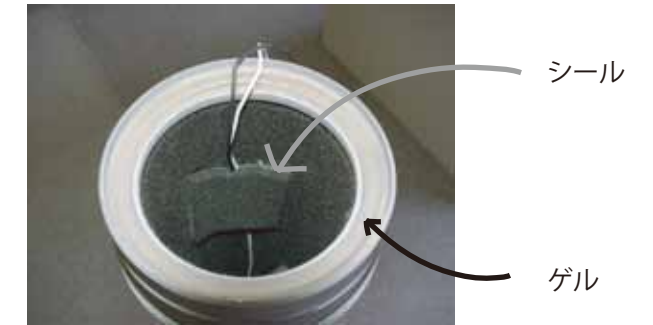


写真5 シール

6)スピーカーケーブルを交換し、外したときと逆の手順でスピーカーユニットを取り付けていきます。

注意:スクリューキャップの内側やゲル(写真5参照)の周囲に液体が付着していることがあります。これはゲルから浸透圧の関係でしみ出ているシリコンオイル成分です。ゲル自身は医療用に使われているものと同じ成分ですので人体に悪影響はありませんが、外部に漏れると(特にスピーカーを横向きにして保存していると漏れやすくなります)シミになることがありますのでティッシュペーパー等でふきとっておいてください。

7)新しいスピーカーケーブルを新しいシールで固定します。「遊び」を交換前と同じ長さにするのが基本ですが、少しでもスピーカーケーブルを長く使いたいのであれば、この部分を短くしても問題ありません。実際には10cmほどあれば作業できるでしょう。

8)ゲルを巻き込まないように注意しながら、ユニットを静かに筒の中に収めていき、スピーカーケーブルを接続します。

注意:スピーカーユニットにスピーカーケーブルを取り付ける際は左側(プラス側)が白いケーブル、右側(マイナス側)が黒いケーブルです。

9)スピーカーユニットが収まったら、スクリューキャップをしめてください。

注意:しめすぎると割れることがありますので、ほどほどに。

10)スピーカーを横にしてスピーカーケーブルストッパーにケーブルを巻き付け、筒の内部のケーブルがたるまない程度に引っ張った状態で、底の部分に取り付けます。



写真6 ストッパー部